Form No. 3478-795 Rev A

TORO®

Count on it.

オペレーターズマニュアル

SnowMax e24 60V除雪機

モデル番号 31860—シリアル番号 400000000 以上
モデル番号 31860T—シリアル番号 400000000 以上

製品の登録は www.Toro.com.
この文書は翻訳です。 (JA)

CE UK CA

3478-795

モデル番号 _____

シリアル番号 _____

はじめに

このマシンは住宅所有者が使用することを目的としています。この製品は主に、私道や歩道などの舗装面、および住宅地や商業地の道路から雪を除去するために設計されています。雪以外の物を除去したり、砂利の表面を均したりするために設計されたものではありません。Toro 60Vリチウムイオンバッテリーパックを使うように設計されています。これらのバッテリーパックは、Toro 60Vリチウムイオンバッテリーチャージャーでのみ充電できるように設計されています。このマシンは本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

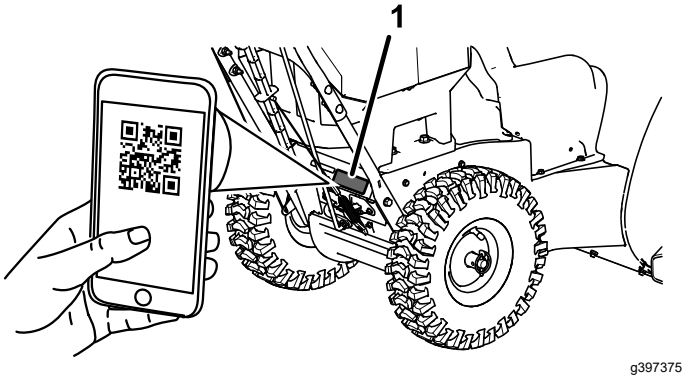
モデル31860Tにはバッテリーや充電器は付属していません。

この説明書を読んで製品の運転方法や整備方法を十分に理解し、他人に迷惑の掛からない、また適切な方法でご使用ください。この製品を適切かつ安全に使用するのはお客様の責任です。

製品の安全や取り扱い講習、アクセサリなどに関する情報、代理店についての情報の入手、お買い上げ製品の登録などをネットで行っていただくことができますwww.Toro.com

サービス、純正Toro部品、または追加情報が必要な場合は、製品のモデル番号とシリアル番号を用意の上、いつでも正規サービスディーラーまたはToroカスタマーサービスに連絡してください。図 1に製品のモデル番号とシリアル番号の表示位置を示します。いまのうちに番号をメモしておきましょう。

重要 **モバイルデバイスでシリアル番号プレートのQRコードをスキャンすると保証、部品、およびその他の製品情報にアクセスできます。**



g397375

図 1

1. 銘板取り付け位置

危険警告記号

危険警告記号図 2は、このマニュアルと実機上とに表示され、事故防止のために守るべき重要な注意事項を示します。



g000502

図 2
危険警告記号

安全警告シンボルは、危険な行為や状況を警告する情報の上に表示され、その後に**危険**、**警告**、または**注意**という単語が続きます。

危険は、回避しないと死亡または重傷を**引き起こす**差し迫った危険な状況を示します。

警告は、回避しないと死亡または重傷を負う**可能性がある**潜在的に危険な状況を示します。

注意は、回避しないと軽度または中程度の傷害を引き起こす**場合がある**潜在的に危険な状況を示します。

このマニュアルでは、情報を強調するために他の2つの単語を使っています。**重要**は製品の構造などについての注意点を、**注意**はその他の注意点を表しています。

© 2026—The Toro® Company
8111 Lyndale Avenue South
Bloomington, MN 55420

連絡先 www.Toro.com.
メキシコで印刷
禁無断転載

安全について

重要な安全性注意事項説明書

⚠ 警告

電気製品を使うときは、火災、感電、または怪我のリスクを軽減するために、次の基本的な安全に関する警告と指示を必ず読んで従ってください

説明書をすべて読んでください

I. トレーニング

1. マシンのオペレーターは、他者またはその所有物に発生した事故や危険に対して責任を負います。
2. マシンを起動する前に、この*オペレーターズマニュアル*の内容を読んで理解してください。このマシンを使うすべての人が、その使用方法、迅速な電源オフの方法、および警告を理解するようにしてください。
3. 子供がマシン本体、バッテリーパック、またはバッテリーチャージャーを使ったり遊んだりしないようにしてください。地域の規制により、オペレーターの年齢が制限されている場合があります。
4. 子供や訓練を受けていない人には決してこのデバイスの運転や整備をさせないでください。責任を持ち、訓練を受け、手順に熟知し、身体的に能力のある人以外にはこのデバイスの操作や整備を許可しないでください。
5. マシン、バッテリーパック、バッテリーチャージャーを使う前に、これらの製品に記載されているすべての手順と注意書きを読んでください。
6. マシン、バッテリーパック、バッテリーチャージャーの操作方法と適切な使用方法に慣れてください。

II.運転の前に

1. 周囲の人や子供を操作エリアに近づけないでください。
2. 決して子供にマシンを操作させないでください。
3. すべてのガードおよびその他の安全装置が適切に設置され、適切に機能していない状態ではマシンを操作しないでください。
4. マシンを使う場所を下調べし、マシンの動作を妨げる可能性のある物や、マシンが投げ出す可能性のある物をすべて取り除いてください。
5. Toroが指定したバッテリーパックのみを使ってください。他のアクセサリやアタッチメントを使うと、怪我や火災の危険性が高まります。
6. バッテリー充電器を適正電圧以外のコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となる可能性があります。バッテリー充電器を適切な定格電圧以外のコンセントに差し込まないでください。
7. 火災、爆発、または怪我の危険につながる予期せぬ動作を示す可能性があるため、損傷または改造されたバッテリーパックやバッテリー充電器は使わないでください。
8. バッテリー充電器の電源コードが破損している場合は、認定サービスディーラーに連絡して点検を依頼してください。
9. バッテリーパックの充電には、必ず Toro 指定のバッテリー充電器を使ってください。ある種のバッテリー パックに適した充電器でも、別のバッテリーパックに使うと、火災の危険が生じる場合があります。
10. バッテリーパックの充電は必ず換気の良い場所で行ってください。
11. すべての充電手順に従ってください。また、説明書に指定された温度範囲外でバッテリー パックを充電しないでください。従わないと、バッテリーパックが損傷し、火災の危険性が高まります。
12. 適切な着衣を心掛けてください。目の保護具、聴覚保護具、長ズボン、滑りにくい丈夫な履物などの適切な衣服を着用してください。長い髪は後ろで束ね、動く部分に引っかかる可能性のあるゆったりとした装身具は身につけないでください。マシンのメンテナンスを行うときは、手袋と目の保護具を着用してください。

III.操作

1. 回転しているローターに接触すると重傷を負う可能性があります。手や足をマシンの可動部分に近づけないでください。排出口に近づかないようにしてください。
2. マシンの操作中は、ハンドルの後ろにいるか排出口から離れてください。
3. このマシンは本来の目的から外れた使用をすると運転者本人や周囲の人間に危険な場合があります。

4. 不意の始動を防止する - バッテリーパックを接続してマシンを操作する前に、電気始動キーがキースイッチから取り外されていることを確認してください。
5. この機械を運転する時は常に十分な注意を払ってください。運転中は運転操作に集中してください注意散漫は事故の大きな原因となります。
6. マシンを始動する前に、すべてのクラッチを解除し、シフトレバーをニュートラルにしてください。
7. マシンの調整、保守、清掃、または保管を行う前に、マシンの電源を切り、電気始動キーを外し、マシンからバッテリーパックを取り外し、すべての動きが止まるまで待ってください。
8. マシンから離れる場合やアクセサリを交換する前には必ずバッテリーパックと電気始動キーをマシンから取り外してください。
9. マシンに過負荷を与えないでください。マシンが設計された速度で、より良く、より安全に作業を実行できるようにしてください。
10. 常に注意を払い、マシンを操作するときは慎重に、分別を持って行ってください。病気、疲労、アルコールや薬物の影響下にあるときは、マシンを使わないでください。
11. マシンの運転は十分な視界の確保ができる適切な天候条件のもとで行ってください。
12. マシンを後進させたり、手前に引っ張ったりするときは、細心の注意を払ってください。
13. 特に斜面では、常に適切な足場とバランスを保ってください。斜面で方向を変えるときは十分過ぎるくらい注意してください。マシンを極端な傾斜地で操作しないでください。マシンを使う時は走らずに歩いてください。
14. 除雪作業をしていないときは、オーガーへの動力を切ってください。
15. 排出口を人に向けないでください。壁や障害物に向かって物を噴出しないでください。物が跳ね返って自分に向かって来る可能性があります。砂利道を横断するときはマシンの電源を切ってください。
16. 車道、歩道、または道路上でマシンを操作するとき、細心の注意を払ってください。隠れた危険や通行に注意してください。
17. マシンが何かに当たったり、異常に振動し始めた場合は直ちにマシンの電源を切り、キーとバッテリーパックを取り外し、すべての動きが止まるまで待ってから、マシンに損傷がないか調べてください。操作を再開する前に必要な修理をすべて行ってください。
18. 何らかの理由で操作位置を離れる場合は必ずマシンの電源を切ってください。
19. マシンの詰まりを取り除く前に、マシンの電源を切り、キーを取り外してください。また、詰まりを取り除くに際は必ず棒や清掃用具を使ってください。
20. 運搬のためにマシンを積み込む前に、マシンの電源を切り、電気始動キーを取り外し、バッテリーパックを取り外してください。
21. 滑りやすい表面では、マシンを高速で運転しないでください。
22. 過酷な状況下では、バッテリーパックから液体が噴出する可能性があります。接触しないようにしてください。誤って液体に触れた場合は、水で洗い流してください。目が液体に触れた場合は、医師の診察を受けてください。バッテリーパックから噴出した液体により、炎症や火傷を起こす場合があります。
23. バッテリーパックやツールを火気や高温にさらさないでください火気にさらしたり、130℃以上の高温にさらすと爆発する可能性があります。
24. バッテリーパックを適切に扱わないと、火災、爆発、または化学火傷の危険が生じる場合があります。
    - バッテリーパックを分解しないでください。
    - バッテリーパックは必ず純正のToroバッテリーパックと交換してください。別の種類のバッテリーパックを使うと、火災が発生したり、怪我をする場合があります。
    - バッテリーパックは、使う準備ができるまで、お子様の手の届かない場所に、元のパッケージに入れたまま保管してください。

IV.メンテナンスと保管

1. マシンの調整、修理、清掃、または保管を行う前に、マシンの電源を切りすべての可動部品が停止するのを待って、マシンから電気始動キーとバッテリーパックを取り外してください。
2. 説明書に記載されている場合を除き、マシンの修理を試みないでください。認定サービスディーラーに、同一の交換部品を使ってマシンの修理を依頼してください。
3. マシンのメンテナンスを行うときは、手袋と目の保護具を着用してください。
4. ローターのメンテナンスを行う際は、電源がオフになっていてもローターが動く可能性があることに注意してください。
5. 所定のパフォーマンスを得るには、Toro純正交換部品とアクセサリのみを使ってください。他の交換部品やアクセサリは危険である可能性があり、それらを使うと製品保証が無効になる場合があります。
6. マシンのメンテナンス - ハンドルを乾燥した清潔な状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。ガードを所定の位置に置き、正常に機能する状態に保ってください。同様の交換部品のみを使ってください。
7. マシンが安全な動作状態にあることを確認するために、すべてのボルト・ナットが適切に締められているかどうかを頻繁に確認してください。

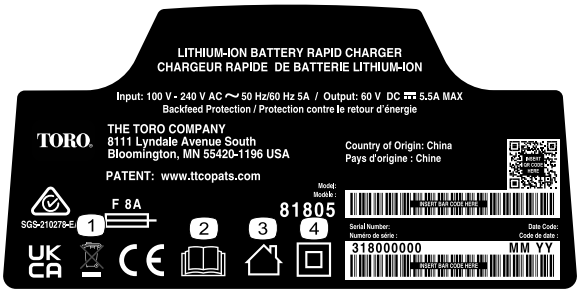
8. マシンに損傷した部品がないかチェックしてください。位置ずれや固着した可動部品、破損した部品、取り付け不良、その他動作に影響する可能性のある状態がないかチェックしてください。説明書に記載がない限り、損傷したガードまたは部品の修理または交換は認定サービス ディーラーに依頼してください。
9. バッテリーパックを使っていないときは、端子間を短絡させる危険性のある金属物 (ペーパークリップ、コイン、鍵、釘、ネジなど) から遠ざけてください。バッテリー端子を短絡させると、火傷や火災の原因となる可能性があります。
10. マシンを使用しないときは、屋内の子供の手が届かない、乾燥した安全な場所に保管してください。
11. マシンを30日以上保管する場合は、重要な情報について保管 (ページ 21)を参照してください。

これらを保存してください

説明書

安全ラベルと指示ラベル

以下のラベルや指示は危険な個所の見やすい部分に貼付してあります。破損したりはがれたりした場合は新しいラベルを貼り直してください。



decal144-6035

144-6035

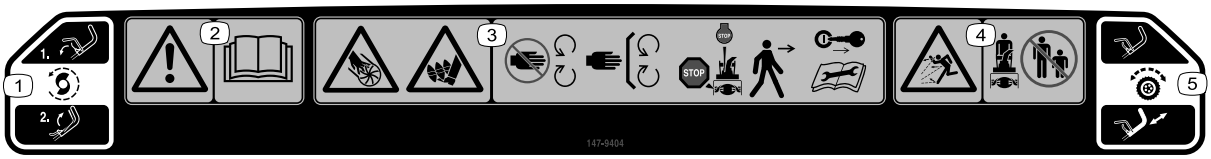
1. むやみに廃棄しないでください
2. *オペレーターズマニュアル*を読んでください。
3. 屋内用
4. 二重断熱



decal145-3129

145-3129

1. バッテリーパックが充電中です。
2. バッテリーパックが満充電されています。
3. バッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。
4. バッテリーパックの充電不良



decal147-9404

147-9404

1. オーガードライブ - レバーを放すと解除され、レバーを握ると作動します。
2. 警告*オペレーターズマニュアル*を読んでください。
3. インペラとオーガによる手足の損傷/切断の危険 - 可動部品から離れてください。すべてのガードとシールドを所定の位置に維持してください。マシンから離れる前にエンジンを停止し、キーを抜いてください。メンテナンスを行う前にオペレーターズマニュアルを読んでください。
4. 異物が飛び出す危険人を近づけないこと。
5. 自走運転 - ハンドルを押し下げて自走運転を開始してください。



decal121-6817

121-6817

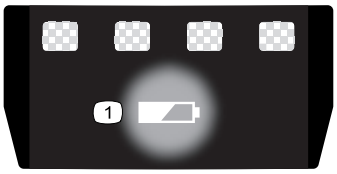
1. インペラとオーガにより手や足が損傷/切断される危険があるため、周辺の人を近づけないでください。



decal131-5914

131-5914

1. インペラやオーガによる手や足の切断/切断の危険性があります。シュート内に手を入れないでください。メンテナンスを行う前に、イグニッション キーを取り外し、*オペレーターズマニュアル*を読んでください。



decal137-9461

137-9461

1. バッテリー充電状態



decal140-8490

140-8490

1. 火気や炎から遠ざけてください。
2. 雨にさらさないでください。
3. *オペレーターズマニュアル*を読んでください。
4. バッテリーは適切にリサイクルしてください。
5. リチウムイオンを含有していますので、むやみに廃棄しないでください。

組み立て

重要 **購入時にはバッテリーパックは十分に充電されていません。初めてマシンを使用する場合は、 バッテリーパックび充電 (ページ 15)を参照してください。**

1

バッテリー充電器の取り付けオプション

この作業に必要なパーツ

2	取り付け金具別売り

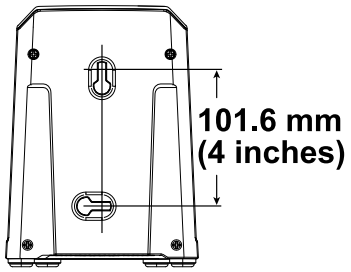
手順

必要に応じて、充電器の背面にある壁取り付け用のキー穴を使って、充電器を壁にしっかりと固定します。

屋内ガレージやその他の乾燥した場所で、電源コンセントの近くで、子供の手の届かない場所に設置してください。

充電器の取り付けについては、 図 3を参照してください。

充電器を適切な位置にある取り付け金具の上にスライドさせて、充電器を所定の位置に固定してください (取り付け金具は別売り)。



g290534

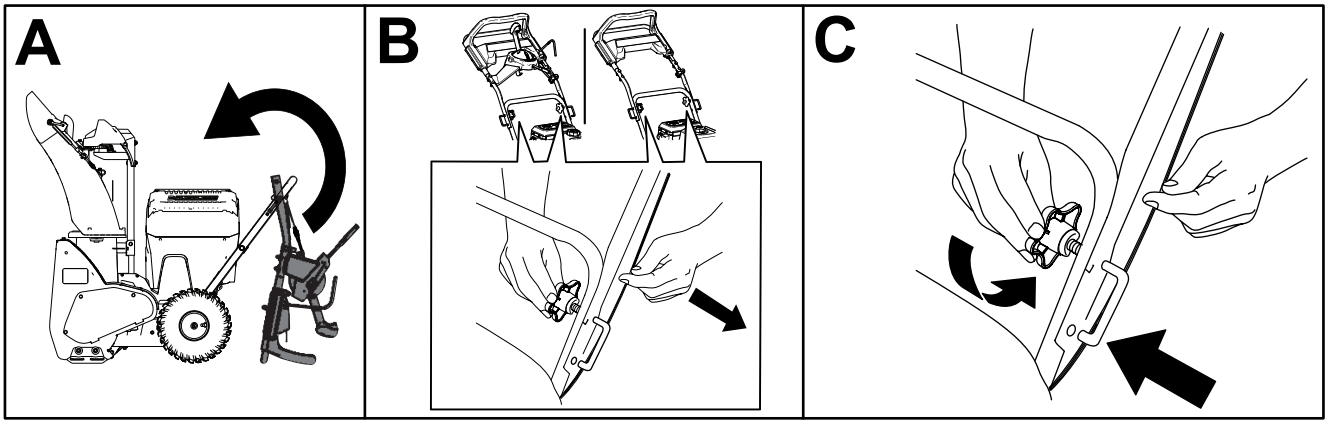
図 3

2

ハンドルの展開

必要なパーツはありません。

手順



g431137

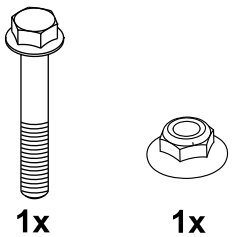
3

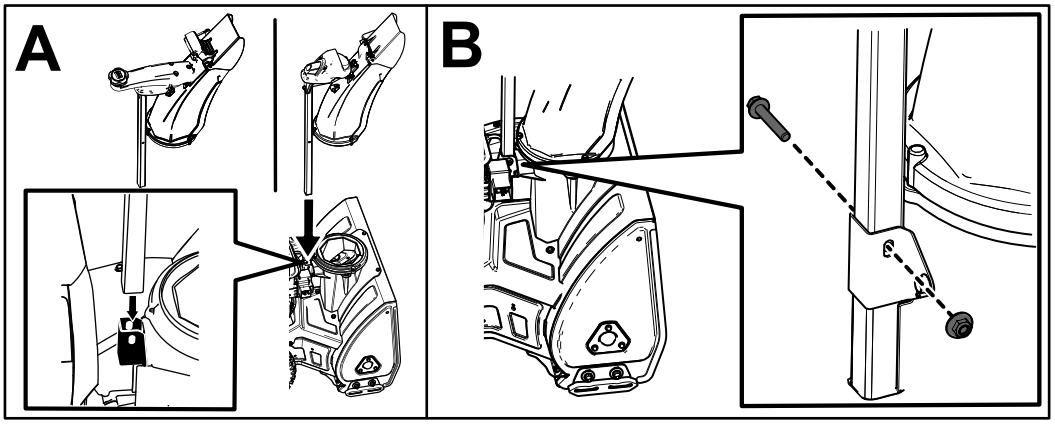
排出シュートの取り付け

この作業に必要なパーツ

1	ボルト
1	ナットの締め付けトルクは

手順





g431165

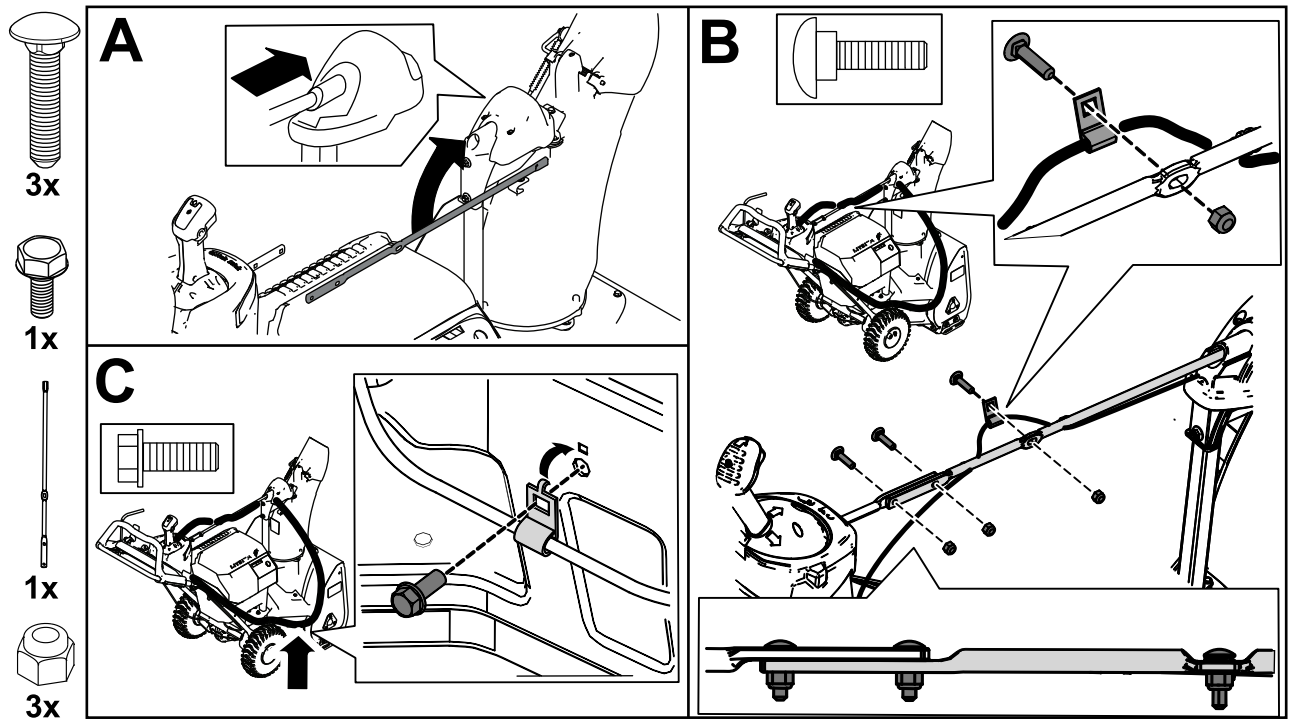
4

シュート制御棒の取り付け

この作業に必要なパーツ

3	ボルト
1	ネジ
1	シュートロッド
3	ナットの締め付けトルクは

手順



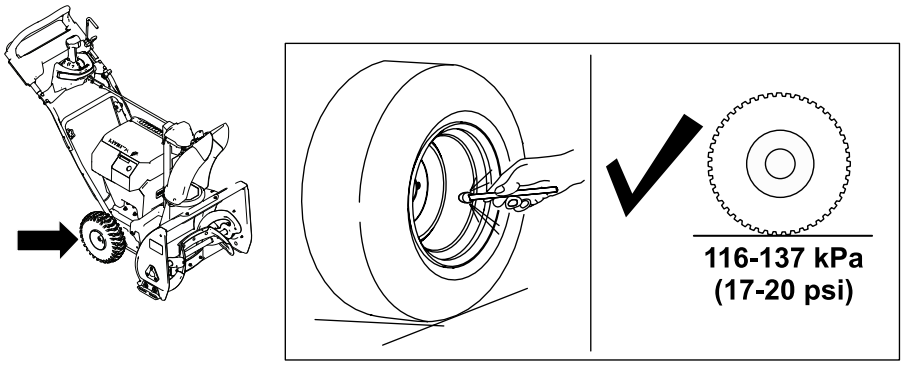
g431182

5

タイヤ空気圧のチェック

必要なパーツはありません。

手順



g431445

図 7

6

スキッドのチェック

必要なパーツはありません。

手順

スキッドのチェックと調整 (ページ 19)を参照してください。

7

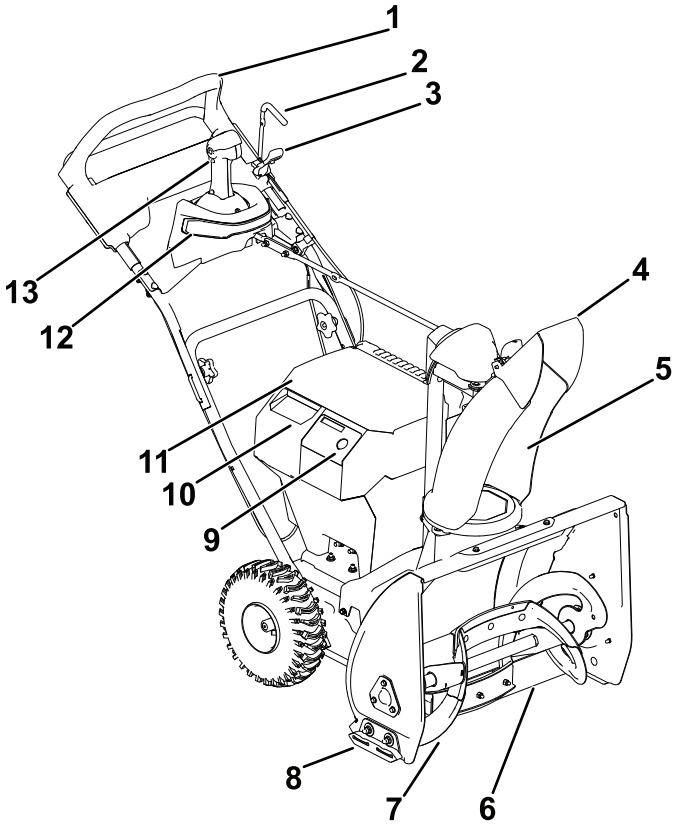
オーガーケーブルの調整

必要なパーツはありません。

手順

初めて使う前に、オーガーケーブルをチェックして調整してください。 オーガーケーブルの調整 (ページ 20)を参照してください。

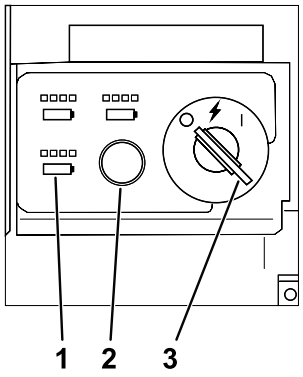
製品の概要



g430951

図 8

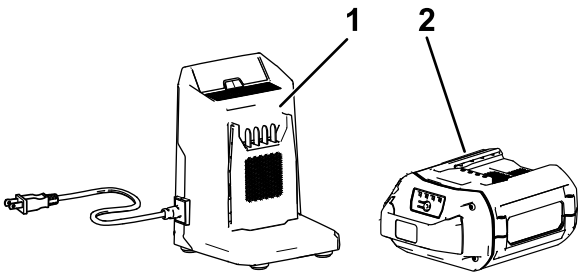
1. ハンドル
2. オーガーレバー
3. オーガーレバーロック
4. シュートデフレクター
5. 排出シュート
6. スクレーパ
7. オーガー
8. スキッド
9. オン/オフ スイッチ
10. セカンダリバッテリーコンパートメントリッド
11. メインバッテリーコンパートメントリッド
12. 照明
13. Quick Stick®排出シュート制御



g347780

図 9

1. バッテリー充電照明
2. ECOボタン
3. キースイッチがオフの位置



g452672

図 10

1. バッテリー充電器 モデル 81805
2. バッテリーモデル81860

仕様

モデル	ウェイト	長さ	幅	高さ
31860	54 kg (119 lb)	132 cm (52”)	63.5 cm (25”)	109 cm (43”)

バッテリーパック

モデル	81860
バッテリーパックキャパシティ	6.0 Ah
	324 Wh
バッテリーメーカーの定格 = 最大60V、定格54V。実際の電圧は負荷によって異なります。	

バッテリー充電器

モデル	81805
タイプ	60V MAXリチウムイオンバッテリー急速充電器
インプット	100240V AC、5.0 A、60 Hz
アウトプット	60V DC ⎓5.5 A MAX

適正温度範囲

バッテリーパックの充電/保管温度範囲	5℃40℃*
バッテリーパックの使用温度範囲	-30℃49℃*
マシンの使用温度範囲	-30℃49℃*

*この範囲内で充電しないと充電時間が長くなります。

マシン、バッテリーパック、バッテリー充電器は、屋根付きの清潔で乾燥した場所に保管してください。

アタッチメント/アクセサリー

Toro承認済みのアタッチメントおよびアクセサリをマシンと一緒に使って、その機能を強化および拡張することができます。承認済みのアタッチメントとアクセサリのリストについては、認定サービス ディーラーまたはToro認定販売店にお問い合わせいただくか、www.Toro.comにアクセスしてください。

マシンの最適なパフォーマンスと継続的な安全認証を維持するには、Toro純正の交換部品とアクセサリのみを使ってください。他社製の交換部品やアクセサリは危険な場合があります。

運転操作

運転の前に

バッテリーパックの取り付け

1. バッテリーパックの通気口にほこりやごみが詰まらないようにします。
2. バッテリーコンパートメントリッドを持ち上げる。
3. バッテリーパックのくぼみをマシンの舌の位置に合わせ、バッテリーパックを所定の位置にロックされるまでコンパートメント内にスライドさせる図 11。
4. バッテリーコンパートメントリッドを締める。
5. 他の2つのバッテリーキャビティでもこの手順を繰り返す (必要な場合)。

   注 取り付けられているすべてのバッテリーの合計アンペア時間は6.0以上である必要があります。そうでない場合、マシンは起動できません。

   注 バッテリーケースの蓋が完全に閉まらない場合は、バッテリーが完全に取り付けられていません。

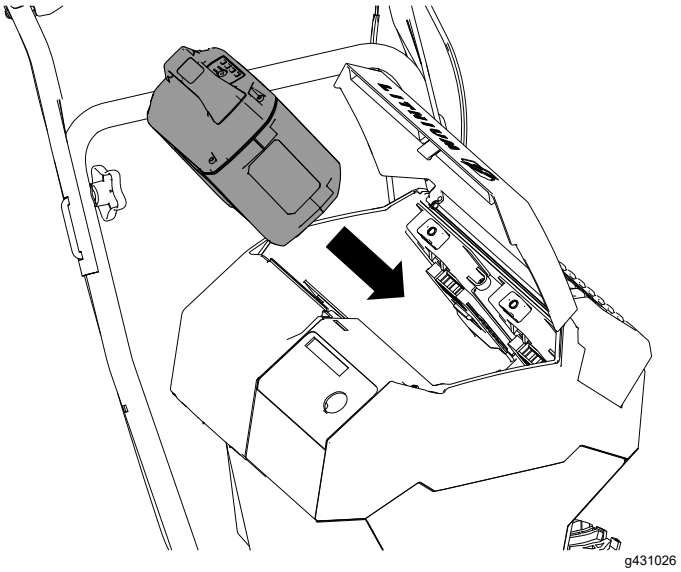


図 11

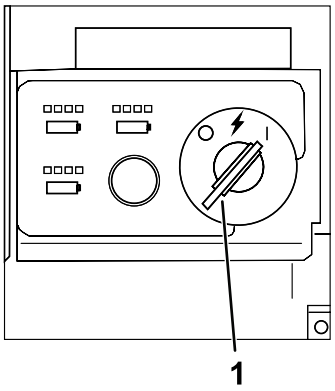
運転中に

マシンの起動

注 バッテリー パックは適切な温度範囲内でのみ使ってください。仕様 (ページ 13)を参照してください。

1. バッテリーパックがマシンに取り付けられていることを確認する。 バッテリーパックの取り付け (ページ 13)を参照してください。
2. 電気始動キーをコントロールパネルに挿入する。
3. キースイッチをアクセサリーの位置に回す。
4. キーをオンの位置にすると、マシンは電気的に接続されます図 12。

   注 キーをオフの位置からオンの位置へ回すのが速すぎると、マシンが起動しないことがあります。キーが中央のアクセサリの位置で短時間停止するようにしてください。



g347864

図 12

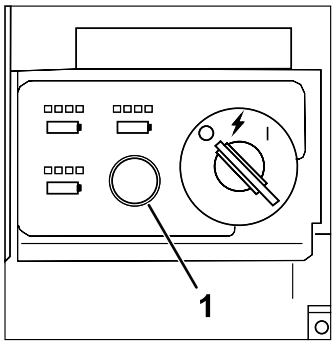
1. キースイッチがオンの位置

注 マシンの電源を入れたまま、オーガーを作動させずにアイドリングまたは作動状態のまま長時間放置すると、モーター停止タイムアウトが作動し、マシンが停止します。このようにマシンが停止すると、タイムアウトが作動したことを示すビープ音が鳴ります。

マシンをリセットするには、キーを約2秒間オフにしてから、手順3と4を繰り返します。

ECOモードを有効にする

ECOモードを使うと、ローターの速度が低下してバッテリー寿命が延びることがあります。軽い雪を除雪する場合や、雪を遠くまで投げない場合は必ずECOモードを使ってください。図 13図のようにECOボタンを使ってECOモードを有効にします。



g347866

図 13

1. ECOモードボタン

バッテリーパックび充電

重要 **購入時にはバッテリーパックは十分に充電されていません。ツールを初めて使用する前に、バッテリーパックを充電器にセットし、LEDディスプレイがバッテリーパックが完全に充電されたことを表示するまで充電してください。すべての安全上の注意事項をお読みください。**

重要 **バッテリー パックは適切な温度範囲内でのみ充電してください。仕様 (ページ 13)を参照してください。**

注 バッテリーパックのバッテリー充電インジケータ ボタンを押すと、現在の充電量 (LEDインジケータ) が表示されます。

1. バッテリーパックおよび充電器の通気口や充電端子にほこりやごみが詰まらないようにします。

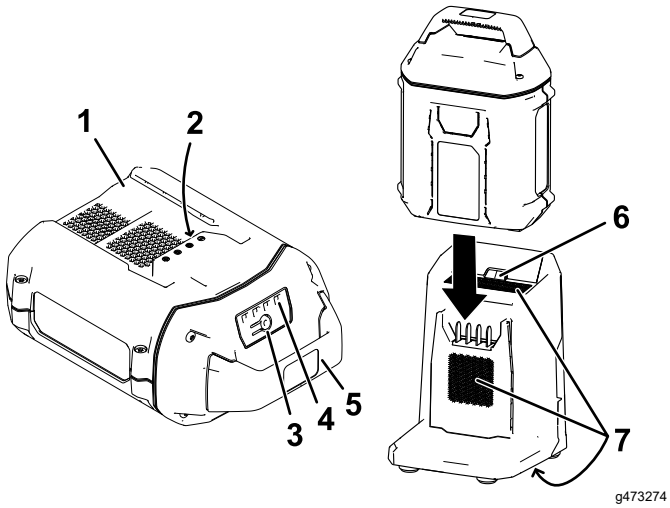


図 14

1. バッテリーパックのくぼみ
2. バッテリーパックの端子
3. バッテリー充電インジケーターボタン
4. LEDインジケーター現在の充電量
5. ハンドル
6. 充電器のLEDインジケーターライト
7. 充電器換気エリア

2. バッテリーパックのくぼみ図 14を充電器の突起部に合わせます。
3. 完全に固定されるまでバッテリー パックを充電器に差し込みます図 14。
4. バッテリー パックを取り外すには、バッテリーを後方にスライドさせて充電器から取り出します。
5. バッテリー充電器のLEDインジケーターライトの意味については、次の表を参照してください。

インジケーターライト	示していること
オフ	バッテリーパックが挿入されていない
緑色点滅	バッテリーパックが充電中
緑	バッテリーパックが充電終了
赤	バッテリーパックまたは充電器が適切な温度範囲を超えているか、下回っています。
赤色点滅	バッテリーパックの充電不良*

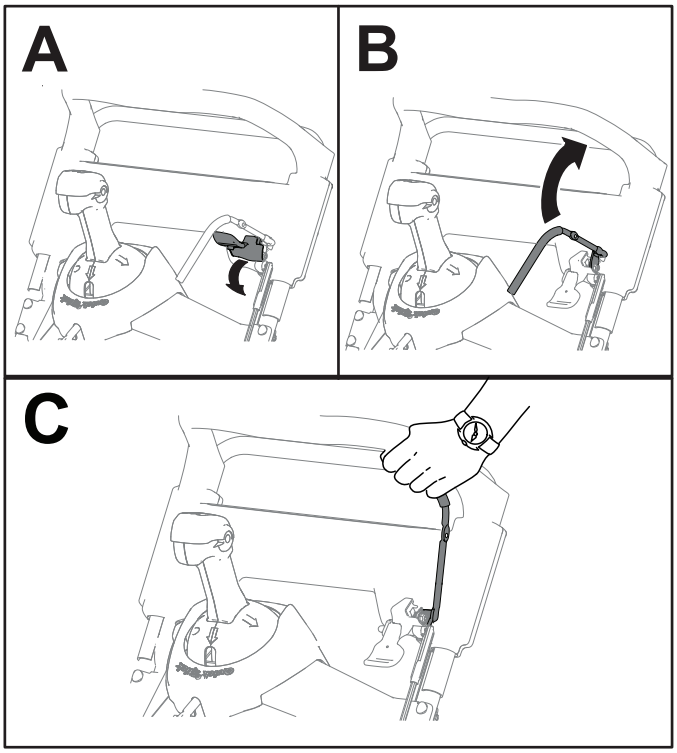
*詳細は故障探究 (ページ 22)を参照してください。

重要 **使用の間、バッテリーパックを充電器に短時間であれば接続したままにしておくことができます。**

バッテリーパックを長期間使用しない場合は、充電器からバッテリーパックを取り外してください。保管 (ページ 21)を参照してください。

オーガーの作動

オーガー係合レバーの基部にあるオーガーレバーロックを前方に押して、オーガー レバーをロック位置から解除する。オーガーレバーを引いてオーガを係合させる。



g431453

図 15

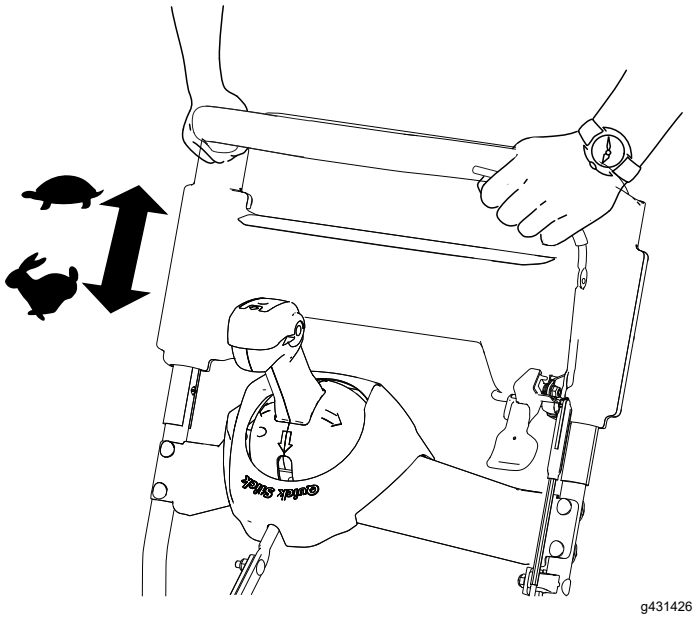
オーガーの解除

オーガーを解除するには、オーガーレバーを放します。

マシンの自走

自走運転で操作するには、両手を上部のハンドルに置き、肘を体の横に置いて歩くだけで、マシンが自動的にユーザーのペースに合わせて進みます。

注 オーガーを作動させた状態でも解除した状態でもマシンを自走させることができます。



g431426

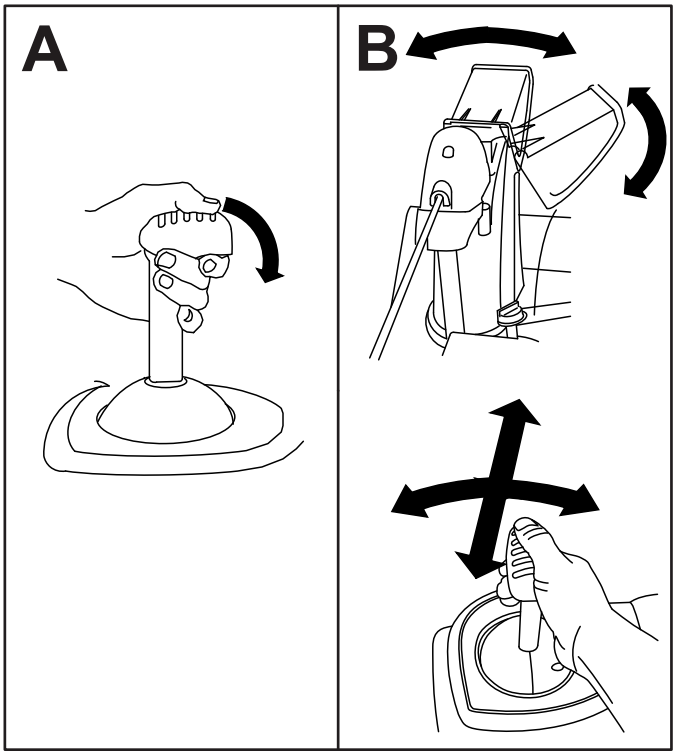
図 16

マシンの電源を切る

マシンを停止するキーをオフの位置に移動する。

クイックスティックの操作

注 青いノブを目一杯押してラッチを解除し、クイックスティックを操作します。



g431092

図 17

排出シュートの詰まり除去

⚠ 警告

オーガー/インペラが作動しているのに排出シュートから雪が出なければ、排出シュートが詰まっている場合があります。

排出シュートの詰まりを除去する際には絶対に手を使わないでください。そうしないと人身傷害が発生する可能性があります。

1. 操作位置を維持したまま、自走ハンドルを放す。
2. オーガーを係合させる。
3. ハンドルを押し下げてマシンの前部を舗装面から数センチ浮かせ、次にハンドルを素早く持ち上げてマシンの前部を舗装面に押し付ける。
4. オーガーを解除する。
5. 排出シュートから雪が流れ出るまで、必要に応じて、手順14を繰り返す。

重要 **マシンの前部をぶつけても排出シュートの詰まりが取れない場合は、マシンの電源を切り、すべての可動部分が停止するのを待ってから、雪除去ツール付属していませんを使ってください。**

重要 **マシンの前部を舗装面にぶつけて排出シュートの詰まりを解消すると、スキッドが動く場合があります。スキッドを調整し、スキッドボルトをしっかりと締める。** **スキッドのチェックと調整 (ページ 19)を参照してください。**

ヒント

⚠ 警告

オーガーが石、おもちゃ、その他の異物を飛ばし、あなたや近くにいる人に重大な傷害を与える可能性があります。

- **除雪するエリアから、ローターブレードが拾い上げて飛ばす可能性のある物体をすべて取り除いてください。**
- **作業エリアから子供やペットを遠ざけてください。**

- 雪が降ったらできるだけ早く除雪してください。
- 雪を完全に除去するために、すこしずつ重ねて除雪します。
- できる限り、風下に向かって雪を排出してください。
- 滑りやすい路面や大雪などでマシンが前進しない場合は、ハンドルを前方に押しますが、マシンが自分のペースで動くようにしてください。

運転終了後に

マシンの電源を切る

1. オーガレバーを放し、マシンを停止させる。
2. キースイッチをオフの位置に回し、マシンからそれを取り除く図 9。
3. バッテリーパックを取り外す。 マシンからバッテリーパックを取り外す。 (ページ 18)を参照してください。

   注 マシンを使わないときは、必ずバッテリーパックとキーをマシンから取り外してください。

   注 マシンの電源を入れたまま、オーガーを作動させずにアイドリングまたは作動状態のまま長時間放置すると、モーター停止タイムアウトが作動し、マシンが停止します。このようにマシンが停止すると、タイムアウトが作動したことを示すビープ音が鳴ります。

   マシンを再始動する。 マシンの起動 (ページ 14)を参照方 。

マシンからバッテリーパックを取り外す。

1. バッテリーコンパートメントリッドを持ち上げる。
2. バッテリーパックのラッチを押してバッテリーパックを解除し、バッテリーパックを取り外す図 18。

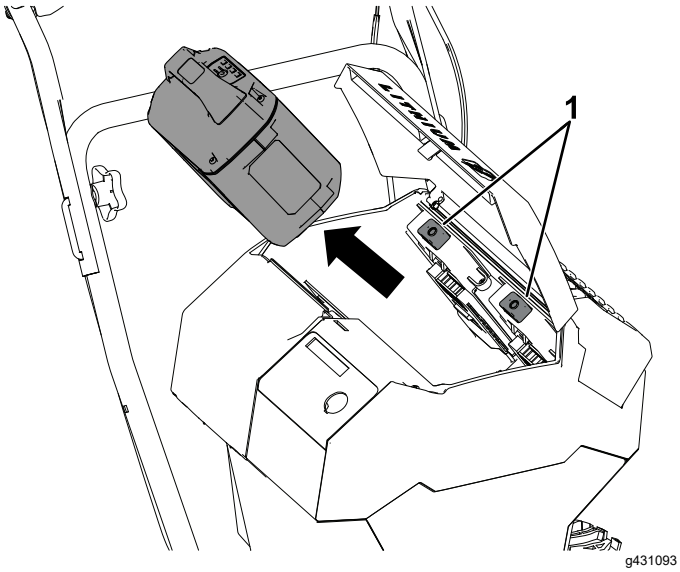


図 18

1. バッテリーパックラッチ

3. バッテリーコンパートメントリッドを締める。

使用後の凍結防止

- 雪が降ったり気温が下がったりする条件では、一部の制御装置や可動部品が凍結する場合があります。**凍結したしたマシンを操作するときは過度の力を加えないでください。**
- マシンの使用後は、オーガーを作動させてハウジング内に残っている雪を除去してください。クイックスティックを回転させて凍結を防止します。マシンの電源を切り、すべての可動部分が停止するまで待ってから、キーとこのシステムは、バッテリーを取り外し、マシンから氷と雪をすべて取り除いてください。
- シュート底面の雪や氷を取り除いてください。
- 排出シュートを左右に回転させて、氷が蓄積しないようにする。

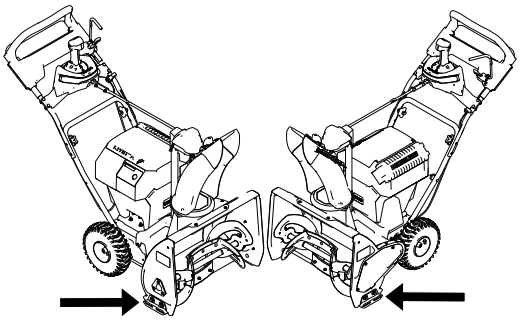
保守

推奨される定期整備作業

整備間隔	整備手順
使用開始後最初の 2 時間	· オーガーケーブルを点検し、必要に応じて調整する。 · トランスミッションケーブルを点検し、必要に応じて調整する。
1年ごと	· ハードウェアが緩んでいないかチェックする。 · スキッドをチェックし、必要に応じて調整する。 · オーガーケーブルを点検し、必要に応じて調整する。 · トランスミッションケーブルを点検し、必要に応じて調整する。
1年ごとまたは長期保管前	· タイヤの空気圧を確認し、116～137 kPa (17～20 psi) まで入れます。 · 必要に応じて、認定サービスディーラーにトラクション駆動ベルトまたはオーガ/インペラ駆動ベルトの点検と交換を依頼してください。

整備作業にかかる前に

1. マシンを水平な場所に移動する。
2. マシンの調整、修理、清掃、または保管を行う前に、マシンの電源を切りすべての動きが停止するのを待って、マシンからバッテリーパックを取り外してください。



g431104

スキッドのチェックと調整

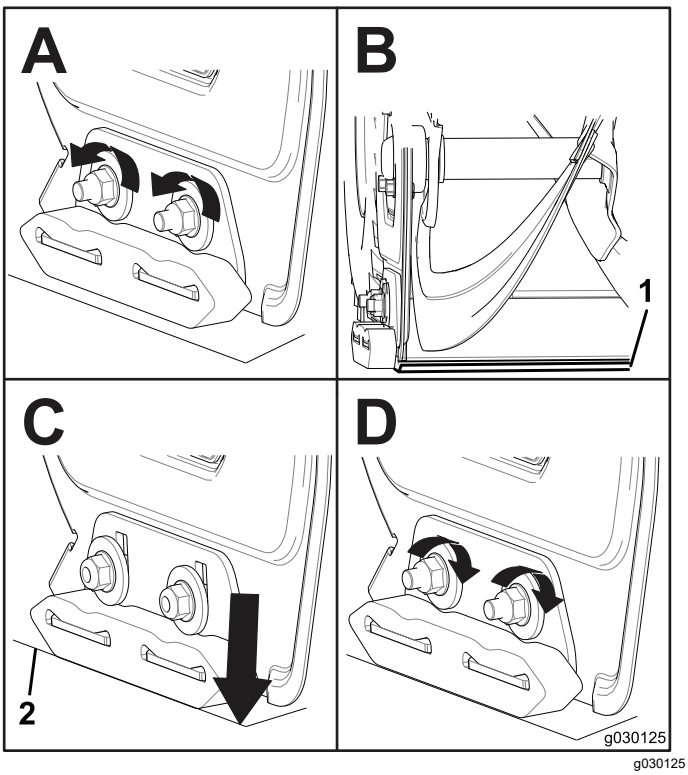
整備間隔: 1年ごと

スキッドをチェックして、オーガーが舗装面に接触しないようにする。摩耗を補うために必要に応じてスキッドを調整する図 19。

1. スキッドボルトを緩める。
2. スクレーパーの下に5 mmのボードを差し込む。

   注 より薄いボードを使うと、より強力なスクレーパーとなり、より厚いボードを使うと、よりマイルドなスクレーパーとなります。
3. スキッドを地面に下ろす。

   注 スキッドが地面に対して平らになるようにしてください。
4. スキッドボルトを締める。



g030125

図 19

オーガーケーブルの調整

整備間隔: 使用開始後最初の 2 時間

1年ごと

重い負荷がかかったときにドライブベルトが滑ったりキーキー音がしたりする場合は、オーガーケーブルを調整する。

1. 下部のケーブルクランプのナットを緩めますが、取り外さないでください図 20。

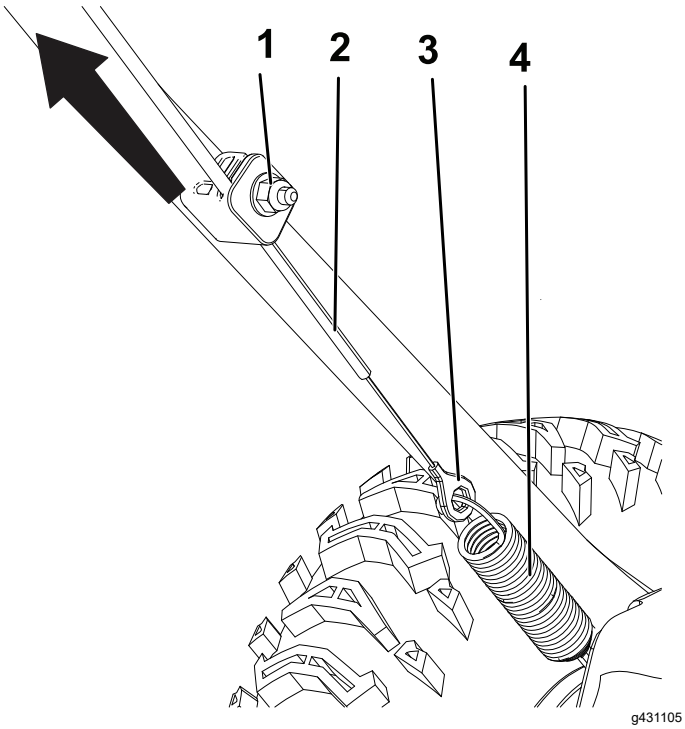


図 20

1. ナットの締め付けトルクは
2. ケーブル
3. コネクター
4. スプリング

2. ケーブルを上に引っ張ってたるみをなくする図 20。

   重要 **ケーブルのたるみは完全に取り除かないでください。ケーブルのたるみをすべて取り除くと、オーガーが正しく停止できなくなります。**

3. ケーブルを所定の位置に固定し、ナット図 20を締める。

トランスミッションケーブルの調整

整備間隔: 使用開始後最初の 2 時間

1年ごと

車輪が簡単に失速したり、自走ハンドルを操作しないのに車輪が動く場合は、トランスミッションケーブルを調整してください。

1. 上部のケーブルクランプのナットを緩めますが、取り外さないでください図 21。

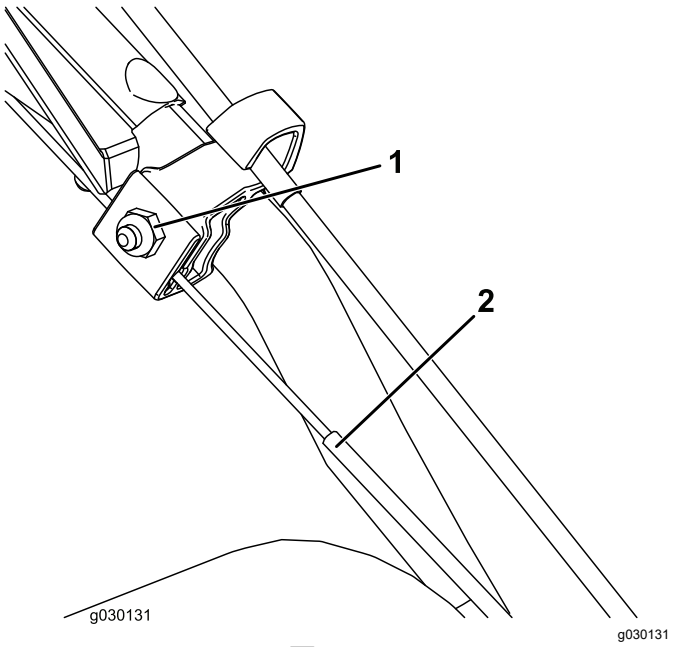


図 21

1. ナットの締め付けトルクは
2. ケーブル

2. ケーブルを下に引いて、ケーブルのたるみを大方取り除く図 21。

   重要 **ケーブルのたるみは完全に取り除かないでください。ケーブルのたるみをすべて取り除くと、自走ハンドルを操作しないのに車輪が作動する場合があります。**

3. ナットの締め付ける図 21。

駆動ベルトの交換

オーガ駆動ベルトまたはトラクション駆動ベルトが磨耗したり、オイルに浸かったり、その他の損傷が生じた場合は、認定サービスディーラーにベルトの交換を依頼してください。

保管

マシンの保管

重要 **マシン、バッテリーパック、充電器を保管する場合は適切な温度範囲内で行ってください。** **仕様 (ページ 13)****を参照してください。**

重要 **オフシーズンにバッテリー パックを保管する場合は、バッテリーのLEDインジケーターが1つまたは2つ緑色に変わるまで充電します。完全に充電されたバッテリー、または完全に使い切ったバッテリーは保管しないでください。マシンを再び使用する場合は、充電器の左端のインジケータライトが緑色に変わるまで、またはバッテリーのLEDインジケータ4つがすべて緑色に変わるまで、バッテリーパックを充電します。**

- 使用後は、製品を電源から切断しつまり、電源プラグまたはバッテリーパックからプラグを取り外しキーを抜いて、損傷がないか確認してください。
- 製品に異物がある場合はすべて取り除きます。
- バッテリーパックを取り付けたまま、ツールを保管しないでください。
- 使用していないときは、マシン、バッテリーパック、キー、バッテリー充電器を子供の手の届かないところに保管してください。
- マシン、バッテリーパック、キー、バッテリー充電器を園芸用化学薬品や凍結防止剤などの腐食性物質から遠ざけてください。
- 重大な人的傷害のリスクを軽減するために、バッテリーパックを屋外または車内に保管しないでください。
- 認定サービスディーラーから入手できる塗料を使って、欠けた表面を補修する。塗装する前に、影響を受けた部分を研磨し、金属部品の錆を防ぐために防錆剤を使ってください。
- 緩んだネジ、ボルト、ロックナットをすべて締める。損傷した部品を修理または交換する。
- マシン、バッテリーパック、キー、バッテリー充電器は、屋根付きの清潔で乾燥した場所に保管してください。

バッテリーパックをリサイクルする準備

重要 **取り外したら、バッテリーパックの端子部分を強力な粘着テープで覆ってください。バッテリーパックを破壊したり、分解したり、そのコンポーネントを取り外そうとしたりしないでください。**

	Call2Recycleシールの貼られたリチウムイオンバッテリーパックは、Call2Recycleプログラムに参加している小売店またはバッテリーリサイクル施設でリサイクル可能です (米国およびカナダのみ)。近隣の参加小売店または施設を見つけるには、1-800-822-8837に電話するか、www.call2recycle.orgにアクセスしてください。お近くに協力小売店や施設が見つからない場合、または充電式バッテリーに Call2Recycle シールが貼られていない場合は、責任を持ってバッテリーをリサイクルする方法詳細については、お住まいの地域の自治体に問い合わせてください。米国およびカナダ以外にお住まいの場合は、正規のToro配給店にお問い合わせください。

故障探究

問題	考えられる原因	対策
マシンが動作しない、または連続的に動作しない。	1. オーガ—が長時間作動しなかったため、モーターの停止タイムアウトに達しました。 2. キーをオフからオンに回すのが速すぎました。 3. バッテリーパックの充電残量が少なくなっています。 4. バッテリー パックが完全に装着されていません。 5. バッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。 6. バッテリーパックが高アンペア制限を超えている。 7. バッテリーパックのリード線が濡れている。 8. バッテリーパックが損傷しています。 9. マシンに別の電気的な問題があります。	1. 問題ありません。マシンを再起動してください。マシンはビープ音を鳴らして、モーターの停止タイムアウトに達したことを知らせます。 2. キーをゆっくり回して、キーが中央のアクセサリ位置で少しの間止まるようにします。 3. バッテリーパックを充電します。 4. バッテリー パックがハウジングに完全に挿入され、所定の位置に固定されるようにしてください。 5. バッテリーパックを温度が5°C40°Cの乾燥した場所に保管してください。 6. キーをオフの位置に回す。 7. バッテリーパックを乾燥させるか、拭いて乾かします。 8. バッテリーパックを交換します。 9. 認定サービスディーラーに連絡します。
マシンがフルパワーに達しません。	1. バッテリーパックの充電量が低すぎます。 2. 通気口が塞がれています。	1. バッテリーパックをマシンから取り外してフル充電します。 2. 通気口を掃除してください。
マシンがビープ音を発しています。	1. オーガ—が長時間作動しなかったため、モーターの停止タイムアウトに達しました。 2. バッテリーパックの充電残量が少なくなっています。 3. マシンが過負荷状態です 4. マシンに別の電気的な問題があります。	1. 問題ありません。マシンを再起動してください。マシンはビープ音を鳴らして、モーターの停止タイムアウトに達したことを知らせます。 2. バッテリーパックを充電します。 3. 除雪中はもっとゆっくり歩くか、雪が積もっている場合は雪を砕いてから除雪してください。 4. 他のトラブルシューティング手順を試してもアラームが鳴る場合は、認定サービスディーラーに問い合わせてください。
マシンは作動するが、雪の排出が不十分、またはまったく排出されない。	1. 1回の除雪で除去しようとしている雪が多すぎます。 2. 非常に重い雪や湿った雪を除去しようとしています。 3. 排出シュートが詰まっている。 4. オーガ/インペラの駆動ベルトが緩んでいるか、プーリーから外れている。 5. オーガの駆動ベルトが摩耗または破損している。 6. 過酷な状況なのにマシンをECOモードで使っています。	1. 1回の除雪で除去する雪の量を減らします。 2. マシンで極端に重い雪や湿った雪を除雪しないでください。 3. 排出シュートの詰まりを取り除きます。 4. オーガ/インペラ駆動ベルトの取り付け調整を行います。サービス情報についてはwww.Toro.comを参照するか、マシンを認定サービスディーラーに持ち込んでください。 5. オーガの駆動ベルトを交換します。サービス情報についてはwww.Toro.comを参照するか、マシンを認定サービスディーラーに持ち込んでください。 6. 過酷な状況ではECOモードが作動しないようにします。

問題	考えられる原因	対策
排出シュートが所定の位置に固定されないか、動かない。	1. 排出シュートのラッチケーブル調整が適切でありません。	1. シュートのラッチまたはケーブルに付着した氷や堆積物を取り除きます。必要に応じて、認定サービスディーラーに連絡して排出シュートのラッチを調整してください。
マシンの表面の雪の除去が不十分。	1. スキッドまたはスクレーパーの調整が適切でありません。 2. タイヤ内の空気圧が均一でない。	1. スキッドまたはスクレーパーを調整します。 2. 1つまたは両方のタイヤの空気圧をチェックして調整します。
パワーヘッドのLEDバッテリー充電ライトが赤です。	1. バッテリーの温度または電圧が動作範囲外です。	1. 充電器でバッテリーの状態と充電レベルを確認します。
バッテリーパックの電力がすぐに消耗します。	1. バッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。 2. マシンが過負荷状態です	1. バッテリーパックを温度が5°C40°Cの乾燥した場所に保管してください。 2. マシンを押す力を弱めます。
バッテリー充電器が動作していません。	1. バッテリー充電器が適切な温度範囲を超えているか、下回っています。 2. バッテリー充電器が差し込まれているコンセントに電力が供給されていません。	1. バッテリー充電器のコンセントを抜き、乾燥した、温度が5°C40°Cの場所に移してください。 2. 資格のある電気技師に連絡してコンセントを修理してもらってください。
バッテリー充電器のLEDインジケーターが赤色に点灯している。	1. バッテリー充電器またはバッテリーパックが適切な温度範囲を超えているか、下回っています。	1. バッテリー充電器のコンセントを抜き、バッテリー充電器およびバッテリーパックを乾燥した、温度が5°C40°Cの場所に移してください。
バッテリー充電器のLEDインジケーターが赤色に点滅している。	1. バッテリーパックと充電器間の通信にエラーが発生しています。 2. バッテリーパックの電力が弱い。	1. バッテリーパックをバッテリー充電器から取り外し、バッテリー充電器をコンセントから抜いて、10秒間待ちます。バッテリー充電器をコンセントに再度差し込み、バッテリーパックをバッテリー充電器の上に置きます。依然としてバッテリー充電器のLEDインジケーターが赤色に点滅してい場合は、このプロセスを繰り返します。2回試してもバッテリー充電器のLEDインジケーターがまだ赤く点滅している場合は、バッテリーが保証期間内であれば認定サービスディーラーに問い合わせるか、バッテリーパックをバッテリーリサイクル施設で適切に廃棄してください。 2. バッテリーが保証期間内である場合は、認定サービス ディーラーに問い合わてください、そうでない場合はバッテリーリサイクル施設でバッテリーパックを適切に廃棄してください。



Count on it.